

井上眼科 だより

Inouye Eye Hospital NEWS

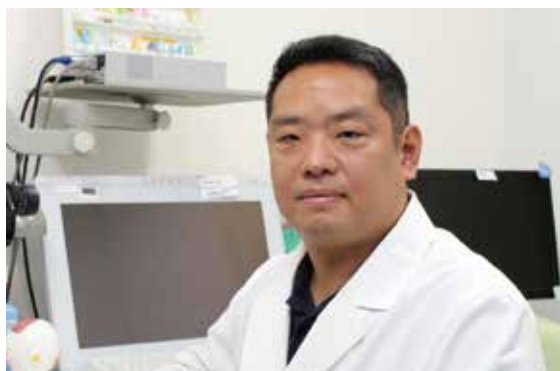
2017.10
vol.102

西葛西・井上眼科病院

頼れる眼科病院を目指して—

西葛西・井上眼科病院は、地域医療を担う病院であるとともに、井上眼科病院グループの網膜硝子体センターとしての役割も担っており、昨年は1,000件以上の網膜硝子体手術を行いました。中でも「網膜剥離」は、突然気が付くことが多く、放っておけば失明する病気のため、患者さまは不安になると思います。手術で網膜剥離が治っても、歪んで見える、物の大きさが左右違って見えるなどの後遺症が残ることもあり、早期発見・早期治療が重要です。当院は、復位率

井上順治 院長



100%を目指し、患者さまの目の症状と、不安な気持ちを合わせて治療することを心がけています。飛蚊症など、見え方に変化がある場合には、早めの受診をお願いします。

また10月より、眼瞼形成が専門である野田実香先生が当院でも手術を行います。眼瞼下垂、眼瞼内反や、小児の手術も担当します。まぶたの病気について気になることがありましたら、まずは担当医にご相談ください。

西葛西・井上眼科病院は、高度な医療と充実した設備で地域の皆さまにとって、頼れる眼科病院であることを目指してまいります。

大宮・井上眼科クリニック

小児眼科外来のご紹介—

小児期は視機能の発達において重要な時期です。当クリニックでは、経験を積んだ医師と、視能訓練士という国家資格を有する専門スタッフが充分時間をかけて、丁寧に小児眼科診療に取り組んでいます。

お子さまの症状についてお話を伺う「問診」の後、「近視・遠視・乱視などの目の度数の測定」、「視力検査」、「眼位(目の位置)・眼球運動(色々な方向を見たときの目の動き)」などの必要な検査を行います。自覚的なお答えが出来ない乳幼児でも年齢に合わせた検査を行います。乳幼児健診、学校健診後の詳しい検査・診療などもお受けしています。

お子さまの眼のことで気になることがありましたら、私たちにご相談ください!!



田中里歌先生

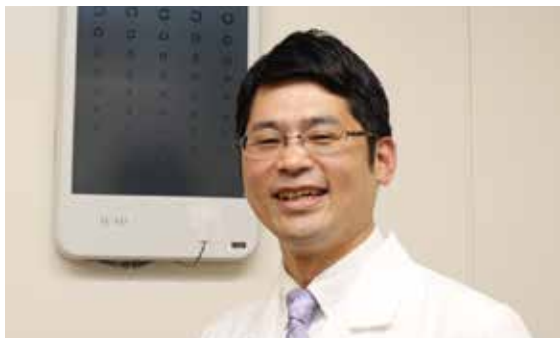
山本智恵子先生

小児眼科外来【予約制】
月・水・土午後／水・金午前
☎048-871-8471

WEB予約
受付サイト



川添賢志 院長



「大宮セミナー ～白内障について～」を行いました

当日は、43名の方にご参加いただきました。白内障手術について、院長から詳しく話をした後、手術室の見学を行いました。中には、当院での日帰り白内障手術を受ける予定の方もおり、手術の様子をより具体的に感じていただけたようです。患者さまとの距離も縮められ、とても充実したセミナーでした。今後とも行ってまいりますので、ホームページなどで告知いたします。



参加費無料 説明会のご案内

お茶の水・井上眼科クリニック18階 屈折矯正外来 レーシックセンター

■ プレミアム白内障手術説明会

最先端レーザー白内障手術の説明や、術後の患者さまの感想などもご紹介いたします。

- 2017年10月21日(土) 15:30～ 講師:井上賢治 医師
- 2017年10月28日(土) 15:30～ 講師:比嘉利沙子 医師

■ レーシック説明会

屈折矯正手術担当スタッフが近視矯正手術(LASIK)についてご説明し、皆さまのご質問に医師がお答えいたします。

- 2017年11月8日(水) 18:30～

■ ICL説明会

ICL認定医師による手術の説明や、術後の患者さまの体験談などもご紹介いたします。

- 2017年10月28日(土) 13:30～

お電話での申し込み **0120-48-4930**

午前9:00～午後5:00(日曜・祝日・年末年始除く)
詳しくは、院内掲示または、ホームページをご覧ください。



ご意見・ご感想を
press-agent@inouye-eye.or.jp
までお寄せください

QRコードを
読み取ると
メールフォーム
が開きます



発行：医療法人社団済安堂 井上眼科病院
www.inouye-eye.or.jp

〒101-0052 東京都千代田区神田駿河台4丁目3番地 ☎03-3295-0911

井上眼科だより

Inouye Eye Hospital NEWS

2017.10
vol.102



左から徳田副院長、森山副院長、井上理事長、岡山院長、天野副院長、比嘉副院長

お茶の水の「井上眼科病院」と「お茶の水・井上眼科クリニック」では、4月より副院長が4名となり、新たな体制で診療を行っています。

井上眼科病院は、白内障手術の難症例を担当している徳田芳浩副院長に加えて、2人が新副院長に就任しました。

天野史郎副院長の専門分野は角膜です。当院でも、角膜外来を担当され、角膜移植や角膜レーザー、翼状片手術、白内障手術など多くの手術を執刀しています。

森山涼副院長は、白内障の診療と手術を中心に担当しています。徳田副院長の元で日々研鑽を積み、難しい白内障手術も多数執刀しています。

お茶の水・井上眼科クリニックでは、比嘉利沙子副院長が新副院長に就任しました。最先端のレーザーを使った白内障手術や、近視矯正手術のひとつである「有水晶体内レンズ(ICL)手術」など、さまざまな手術と、一般眼科外来を行っています。

「井上眼科病院」「お茶の水・井上眼科クリニック」は、専門分野の違う医師が新たに副院長に就任し、『眼』の総合病院の確立と、患者さま第一主義の実践を推進し、更なる医療サービスの向上に努めてまいります。

医療法人社団済安堂 理事長
井上眼科病院 院長

井上賢治

井上眼科病院グループ

Advanced medical care for all generation

INOUE EYE HOSPITAL since 1881

「健康な眼の状態健康な生活を維持しましょう！」

通常、人は情報の80%以上を目から得ていると言われています。その点でも、「眼」は非常に重要な器官と言えます。

最近では、IT機器を仕事や余暇時間に活用する機会が増えて、目を酷使しているため、目がしょぼしょぼしたり、乾いた感じなど、ドライアイの症状を訴える方が増加しています。涙の分泌には加齢と女性ホルモンが関係してきますので、特に40代以上の女性の方にドライアイが多いといわれています。

また中高年以降には、白内障、緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性など初期では自覚がないままに病気が進行する可能性があります。これらは加齢に伴う眼疾患と認識される一方で、長年の生活習慣に因るところも大きく、検診による早期発見・早期治療が重要となります。そのため、人間ドックや健康診断では発見しづらい初期の眼の病変を見つけるために、人間ドックや健康診断にプラスして眼科専門のクリニックでの眼科ドックをお勧めしています。

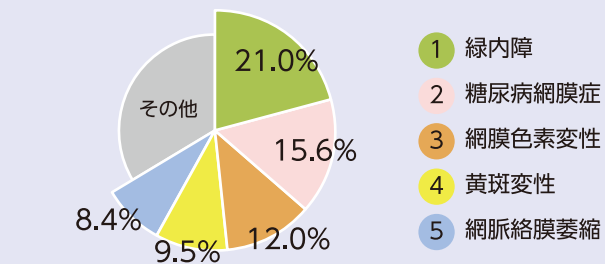
当院では2012年より眼科ドックを開始しました。眼科ドックを受診される方は年々増加傾向にあり、目の健康に関心をもたれている方が増えてきていると感じています。

✓眼科ドックチェック

- ☐ 40歳以上の方
- ☐ 近視が強い方
- ☐ 眼精疲労や不定愁訴が長い方
- ☐ 糖尿病や高血圧の方
- ☐ 偏頭痛のある方
- ☐ 血縁者に緑内障の方がいる方

※チェックがつく方は
眼科ドックの受診を
お勧めします

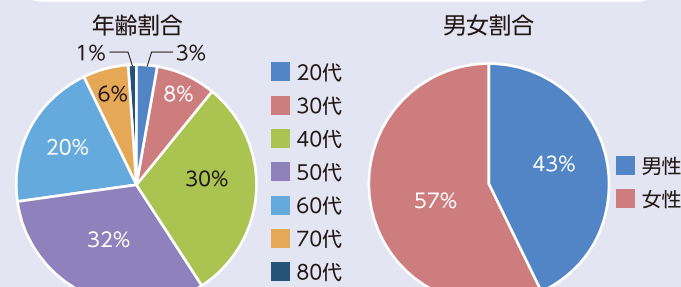
日本人の視覚障害の原因順位と割合*1



1位の緑内障をはじめ、初期には自覚症状が非常に少なく発見が遅れることが多いと言われる疾患が続く。

*1 若生里奈ら「日本における視覚障害の原因と現状」日眼会誌118:495-501,2014

当院の眼科ドック受診者の傾向



50代の方の受診が一番多く、ついで40代、60代となっています。男女比は、若干、女性の方の受診が多いですが、ご夫婦で受診される方も見受けられます。

眼科ドックの申し込み

☎03-3295-7735

【電話受付時間】月～土9:00～17:00 ※祝日・年末年始除く

- 眼科ドックは完全予約制です。
- 眼科ドックで疾患が見つかった場合、その治療については別途保険診療となります。予めご了承ください。
- 眼科ドック報告書は、受診後10日前後でご自宅へ郵送いたします。

栄養素を知ろう!『ルテイン』



秋は、読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋など、季節の移り変わりを楽しむ季節です。そこで今回は、食欲の秋にちなんで、眼に良い栄養素をご紹介します。注目したのは、抗酸化作用の強い「ルテイン」です。

「ルテイン」とは・・・

人間の体は、細胞の酸化によって老化が起こります。老化によって引き起こされるさまざまな変化から身体を守り、健康な状態を少しでも長く伸ばすことが大切です。

そこで、身体の酸化を防ぐために効果があるのが、強い抗酸化作用を持つ「ルテイン」なのです。

ルテインは、カルテノイド(天然色素の一群)で、緑黄色野菜などの、色の濃い野菜に多く含まれます。ルテインは、人間の眼の水晶体と黄斑部にも存在していて、外からのさまざまな刺激によるダメージから眼を守る働きをしています。

「ルテイン」が不足すると・・・

ルテインは、眼の水晶体や網膜の黄斑部に存在しており、眼の中に届く光による酸化を防ぎ、細胞を保護していると考えられています。

抗酸化作用が強く、眼の中にも存在しているルテインを食品などから摂ることで、加齢によって引き起こされる「白内障」「加齢黄斑変性」の進行を抑えるのに有効的と考えられています。

抗酸化作用の強い食品は、眼だけではなく、身体全体の酸化を防ぐので、積極的に摂るようにしましょう。

ルテインを多く含む食べ物は・・・

ルテインは体内で生成することができないため、食べ物やサプリメントなどを活用して、外から摂取する必要があります。

ほうれん草・ブロッコリー・芽キャベツ、かぼちゃ、にんじん、グリーンピース、とうもろこしなどに含まれる他、青汁の材料として利用される「ケール」にも多く含まれます。

ルテインは、脂溶性のビタミンで、油と一緒に摂ると吸収率がよくなるので、炒め物や揚げ物、オイルの入ったドレッシングで和える料理がおすすめです。

《抗酸化作用の強い食品》

●野菜



●魚類



●ナッツ類



駅からすぐのショッピングモールにあり、アクセス抜群です。 左から、当院の井上(賢)、奈良院長、井上(順)。

今回ご紹介するのは、千葉県船橋市高根台の「高根台眼科」院長奈良俊作先生です。1993年から11年間、前理事長の故・井上治郎先生の下、井上眼科病院に在籍されました。

治郎先生から言われた『よく診て、よく検査し、一人ひとり丁寧に診察しなさい』という言葉に胸に、2004年に現在の地に開業されました。「患者さまをよく診る」という、先生からの教えを守り続け、日々診療にあたっている中で、時には患者さまをお待たせすることもあり、大変心苦しく思っている、とのこと。そのため、少し

でも院内で快適に過ごせるよう、待合室を拡張の改装を行い、混雑の緩和にも努めているとしゃべります。

現在の井上眼科病院について「新理事長の井上賢治先生がリーダーシップを発揮されて施設の移転・新築、ユニバーサルデザインの推進など益々発展している様子を遠くから眺めていて、少し誇らしい気持ちです」と暖かいお言葉をいただきました。

「今後も、地域医療に貢献してまいりますので、どうぞよろしくお願いします。」(奈良院長)

◆新入局医師のご紹介◆

○常勤医師



(お茶の水・井上眼科クリニック)

松村 理世(まつむら りよ)

2017年10月より勤務させて頂く事となりました。

眼科一般の診療を担当致します。患者さま一人ひとりに寄り添い、満足のいく医療を提供できるよう心がけております。よろしくお願い致します。

◆NEWS◆

「見えにくさ相談会～便利グッズを体験してみよう～」を実施いたしました。(お茶の水・井上眼科クリニック)

「社会福祉法人 日本点字図書館」の方々のご協力、見えにくさを感じている患者さまに、拡大読書器やルーペ等のご案内や、便利グッズ、IT機器等の利用体験を行いました。

来場者の方からは「実際の機器を手にとって説明が聞けたので、とてもわかりやすかった」「スマートフォンの効果的な使い方を教えてもらえてよかった」などの感想をいただきました。今後も患者さまに役立つ情報をお届けしてまいります。

